

鈴鹿川、櫛田川、宮川水系 河川整備計画の点検

三重河川国道事務所
令和4年10月20日



国土交通省中部地方整備局

三重河川国道事務所

治水に関する取組

鈴鹿川 進捗状況、実施中の事業、事業の内容	1
櫛田川 進捗状況、実施中の事業、事業の内容	5
宮川 進捗状況、実施中の事業、事業の内容	8

利水に関する取組	14
----------	----

環境に関する取組

鈴鹿川 水生生物調査、河川水辺の国勢調査	15
櫛田川 水生生物調査、河川水辺の国勢調査	17
宮川 水生生物調査、河川水辺の国勢調査	19

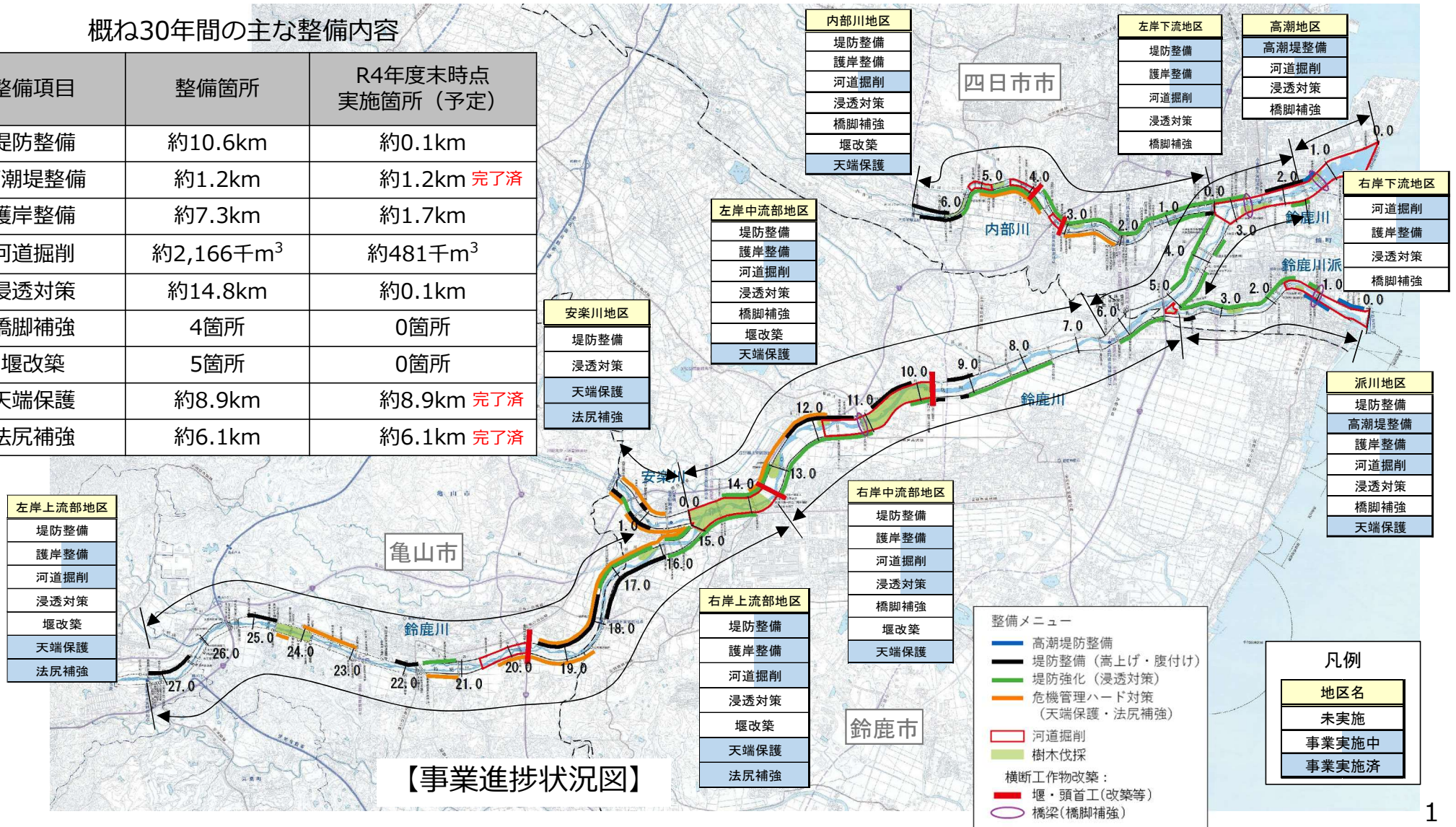
維持管理に関する取組	20
------------	----

鈴鹿川 事業の内容（維持）	21
櫛田川 事業の内容（維持）	22
宮川 事業の内容（維持）	23

- 整備目標流量を安全に流下させるため、護岸整備、河道掘削、樹木伐採を重点的に進めており、河川整備計画（平成28年12月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで**約18%**程度となっています。
- 引き続き、関係機関と十分な連携・調整を図りながら事業を実施していきます。

概ね30年間の主な整備内容

整備項目	整備箇所	R4年度末時点 実施箇所（予定）
堤防整備	約10.6km	約0.1km
高潮堤整備	約1.2km	約1.2km 完了済
護岸整備	約7.3km	約1.7km
河道掘削	約2,166千m ³	約481千m ³
浸透対策	約14.8km	約0.1km
橋脚補強	4箇所	0箇所
堰改築	5箇所	0箇所
天端保護	約8.9km	約8.9km 完了済
法尻補強	約6.1km	約6.1km 完了済



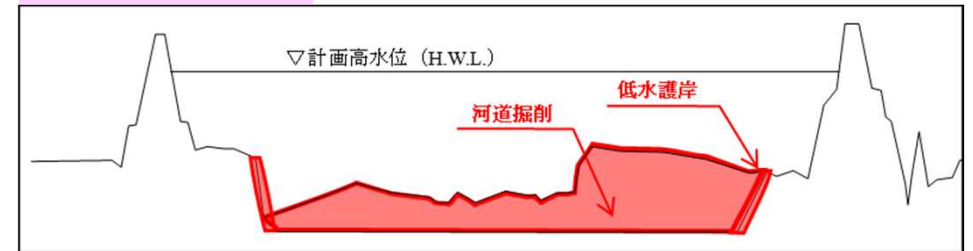
① 鈴鹿川下流部河道掘削事業

- 鈴鹿川（四日市市塩浜地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削、低水護岸整備、橋梁補強を実施する必要があります。
- 現在、河道掘削、低水護岸整備を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前

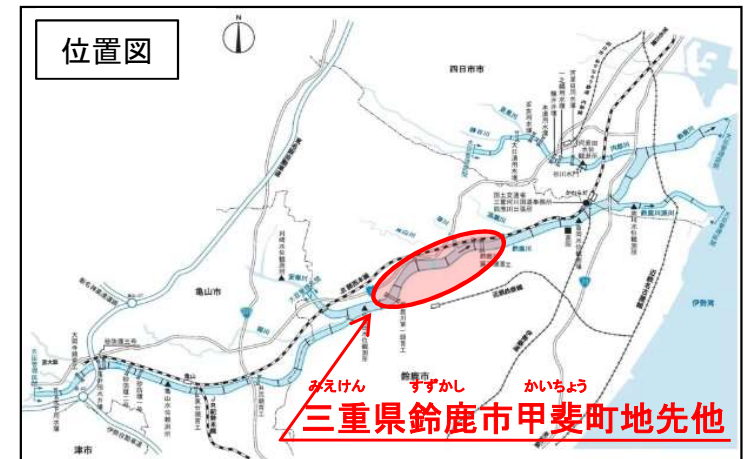


対策後



③鈴鹿川第1・第2頭首工の改築(調査設計)

- 鈴鹿川（鈴鹿市甲斐町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、鈴鹿川第1・第2頭首工の改築を実施する必要があります。
- 現在、調査設計を実施しており、引き続き、工事実施に向けて関係機関等と連携・調整を図りながら事業を実施します。



地質ボーリング調査



関係機関との調整会議



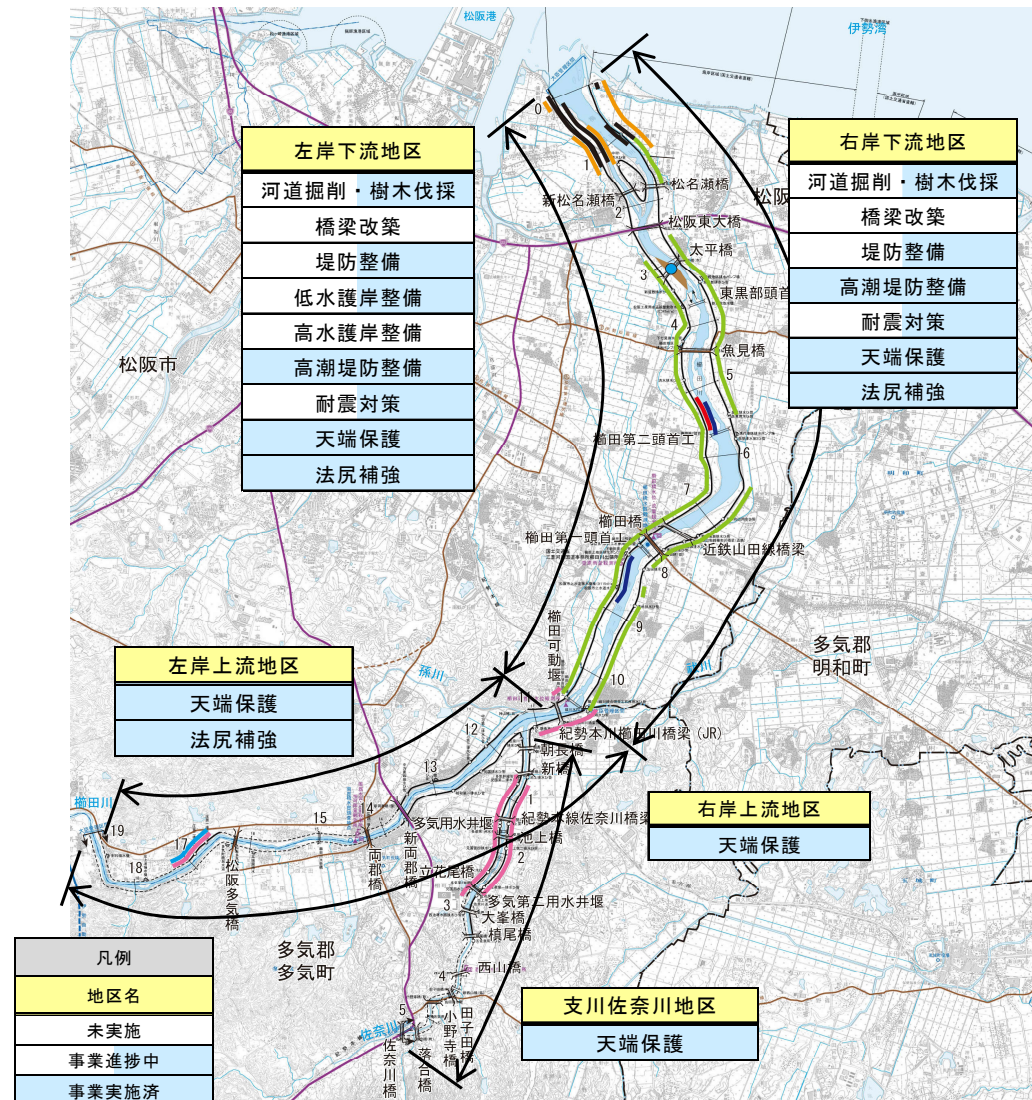
- ◇整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備、河道掘削、樹木伐採を重点的に進めています。
河川整備計画（平成17年8月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで**約66%**程度となっています。
- ◇引き続き、関係機関（三重県、松阪市）と十分な連携・調整を図りながら事業を実施していきます。

【事業進捗状況図】

概ね30年間の主な整備内容

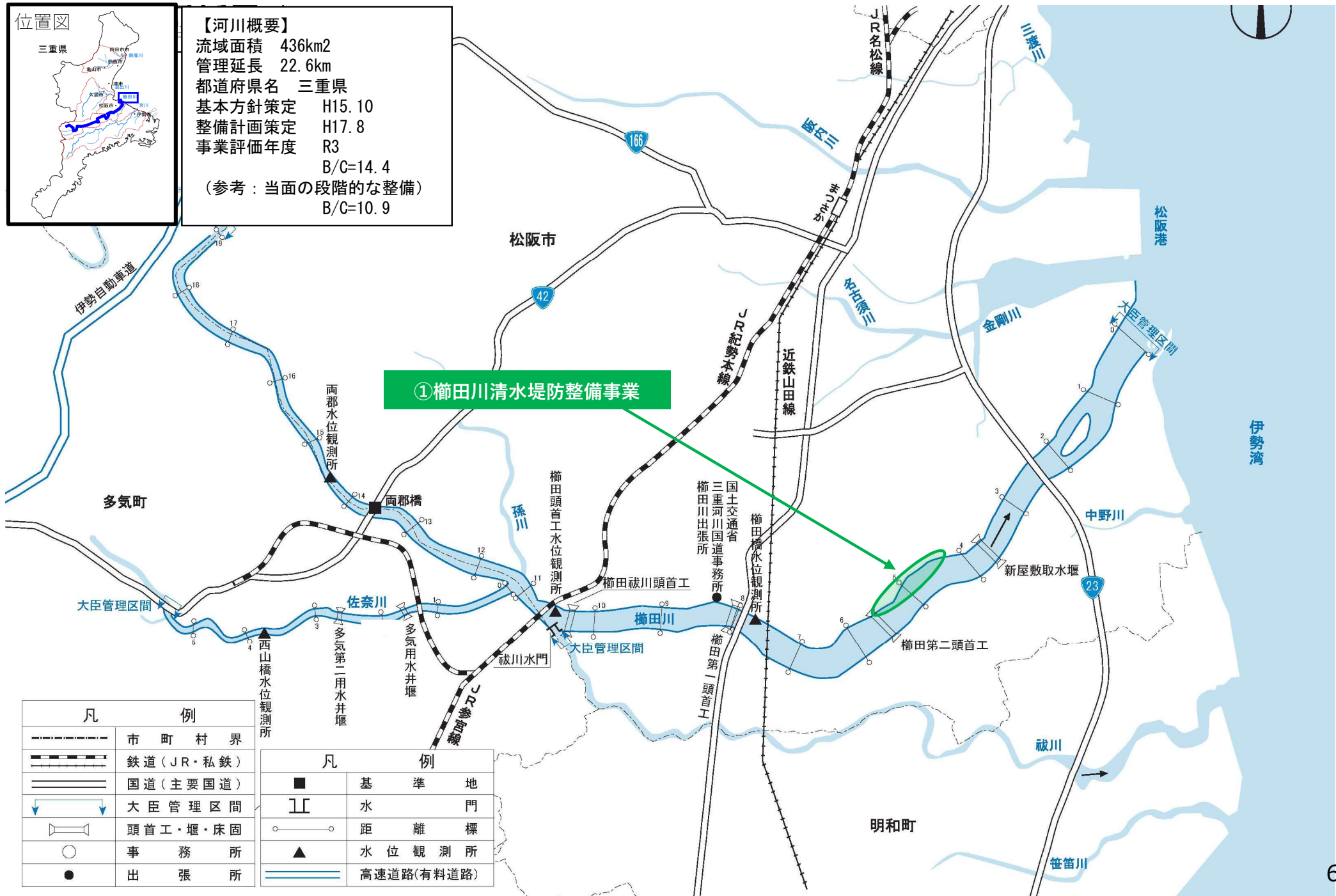
整備項目	整備箇所	令和4年度末時点 整備箇所（予定）
河道掘削・ 樹木伐採	0.6km	0.5km
橋梁改築	1箇所	—
堤防整備 (築堤)	14.6km	8.0km
低水護岸整備	1.0km	0.1km
高水護岸整備	0.4km	—
天端保護	5.8km	5.8km 完了済
法尻補強	1.0km	1.0km 完了済
高潮堤整備	3.5km	3.5km 完了済
耐震対策	2.2km	1.6km

	河道掘削・樹木伐採
	橋梁改築
	堤防整備
	低水護岸整備
	高水護岸整備
	高潮堤防整備
	耐震対策
	天端保護
	法尻補強





【河川概要】
 流域面積 436km²
 管理延長 22.6km
 都道府県名 三重県
 基本方針策定 H15.10
 整備計画策定 H17.8
 事業評価年度 R3
 B/C=14.4
 (参考：当面の段階的な整備)
 B/C=10.9



① 櫛田川清水堤防整備事業

凡 例	
-----	市 町 村 界
-----	鉄 道 (JR・私 鉄)
=====	国 道 (主 要 国 道)
⇄	大 臣 管 理 区 間
⇄	頭 首 工・堰・床 固
○	事 務 所
●	出 張 所

凡 例	
■	基 準 地
	水 門
○—○	距 離 標
▲	水 位 観 測 所
====	高 速 道 路 (有 料 道 路)

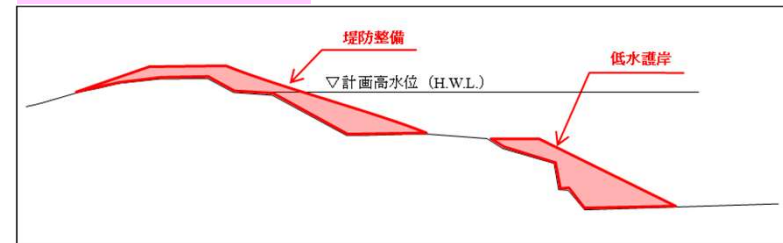
① 櫛田川清水堤防整備事業

- 櫛田川（松阪市清水町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備、低水護岸を実施する必要があります。
- 現在、**低水護岸**を実施しており、引き続き、堤防整備を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後

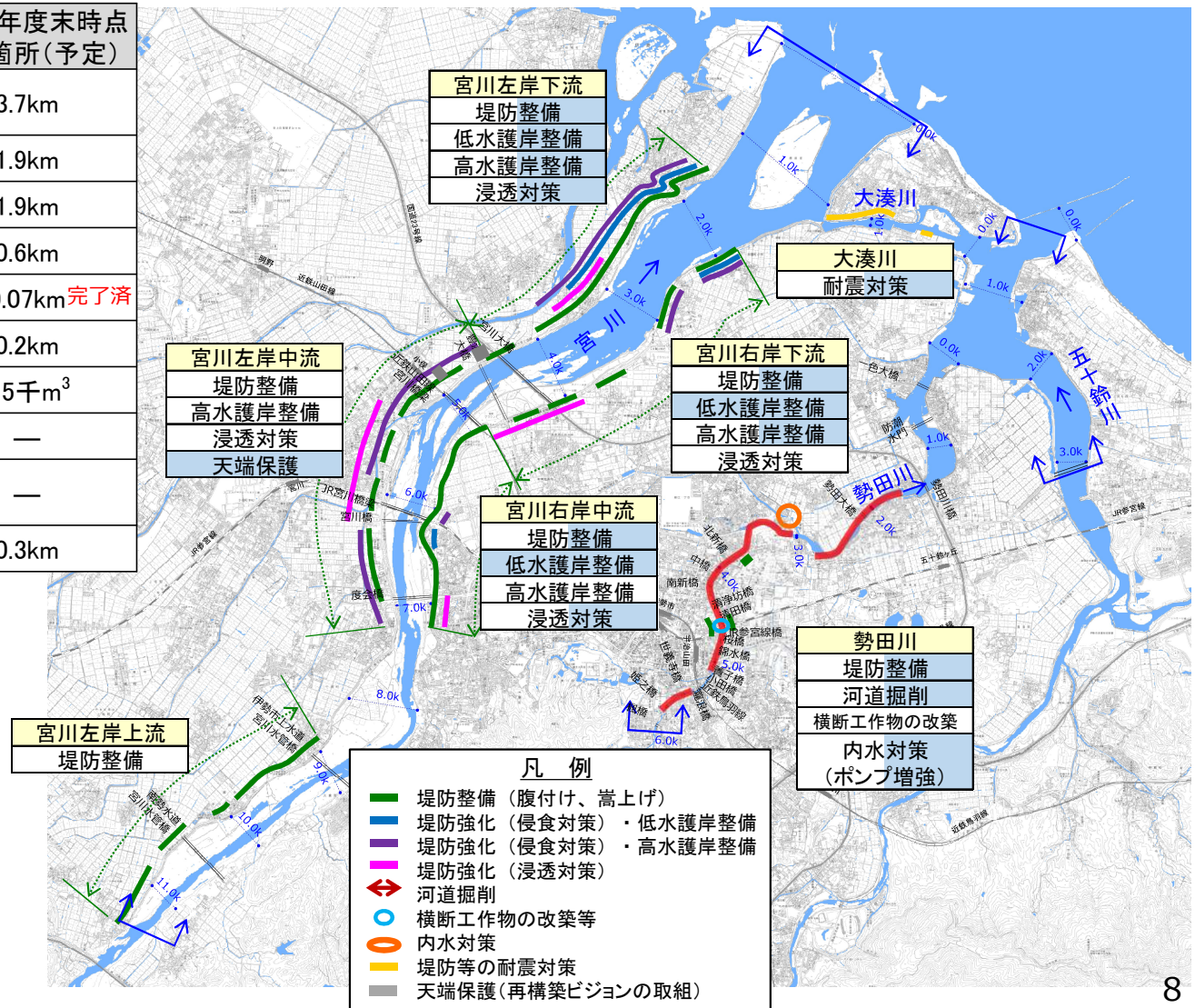


- 整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備、河道掘削、内水対策を重点的に進めており、河川整備計画（平成27年11月策定）に基づく事業の進捗率は、事業費ベースで**約68%**程度となっています。
- 引き続き、関係機関と十分な連携・調整を図りながら事業を実施していきます。

概ね30年間の主な整備内容

河川名	整備項目	整備箇所	令和4年度末時点 整備箇所(予定)
宮川	堤防整備 (腹付け、嵩上げ)	11.1km	3.7km
	低水護岸整備	2.4km	1.9km
	高水護岸整備	5.9km	1.9km
	浸透対策	3.1km	0.6km
	天端保護	0.07km	0.07km 完了済
勢田川	堤防整備	0.6km	0.2km
	河道掘削	79千m ³	75千m ³
	横断工作物の改築	1橋	—
	内水対策 (桧尻川排水機場増強)	1施設	—
大湊川	堤防等の耐震対策	1.1km	0.3km

【事業進捗状況図】



凡例

地区名
未実施
事業実施中
事業実施済

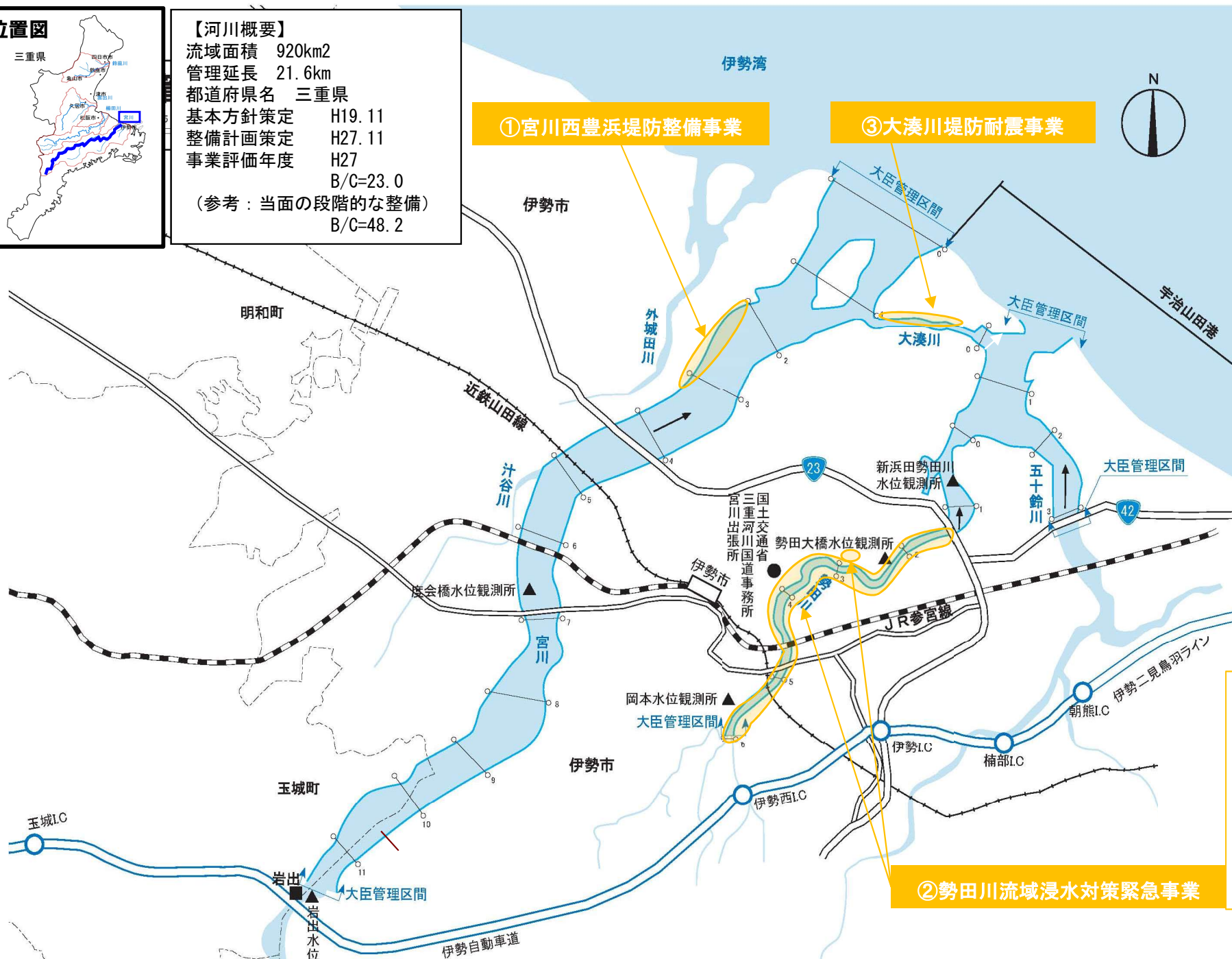
凡例

- 堤防整備（腹付け、嵩上げ）
- 堤防強化（侵食対策）・低水護岸整備
- 堤防強化（侵食対策）・高水護岸整備
- 堤防強化（浸透対策）
- 河道掘削
- 横断工作物の改築等
- 内水対策
- 堤防等の耐震対策
- 天端保護（再構築ビジョンの取組）



【河川概要】

流域面積	920km ²
管理延長	21.6km
都道府県名	三重県
基本方針策定	H19.11
整備計画策定	H27.11
事業評価年度	H27
	B/C=23.0
(参考：当面の段階的な整備)	
	B/C=48.2



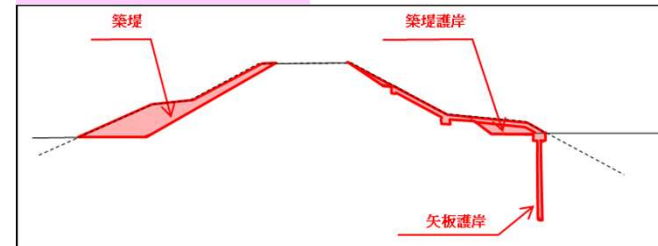
① 宮川西豊浜堤防整備事業

- 宮川（伊勢市磯町地先）では、整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備を実施する必要があります。
- 現在、**堤防整備**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



対策前



対策後



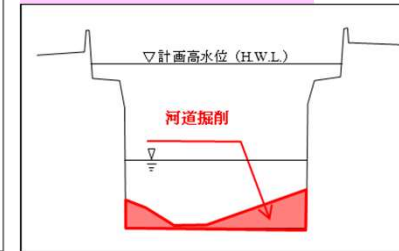
② 勢田川流域浸水対策緊急事業

- 勢田川（伊勢市田尻町地先他）では、整備目標流量を安全に流下させるため、河道掘削等を実施する必要があります。また、内水対策としてポンプ増強を実施する必要があります。
- 勢田川流域では、平成29年10月台風第21号による浸水被害を受け、市、県、国で「浸水対策実行計画」を策定し、三者で総合的・一体的に対策を進めています。
- 現在、河道掘削、ポンプ増強（桧尻川排水機場）を実施しており、引き続き、事業を実施します。

位置図



工事イメージ図



全景



対策状況（河道掘削）



② 勢田川流域浸水対策緊急事業

対策状況 (桧尻川排水機場ポンプ増強)



桧尻川排水機場ポンプ増強本体工事 着工式



③大湊川堤防耐震事業

- 大湊川（伊勢市大湊町町地先）では、大規模地震等で基礎地盤の液状化等により堤防の沈下、崩壊、ひび割れ等が生じた場合、浸水による二次災害及び津波による被害の恐れがあります。そのため、耐震対策を実施する必要があります。
- 現在、**耐震対策**を実施しており、引き続き、事業を実施します。

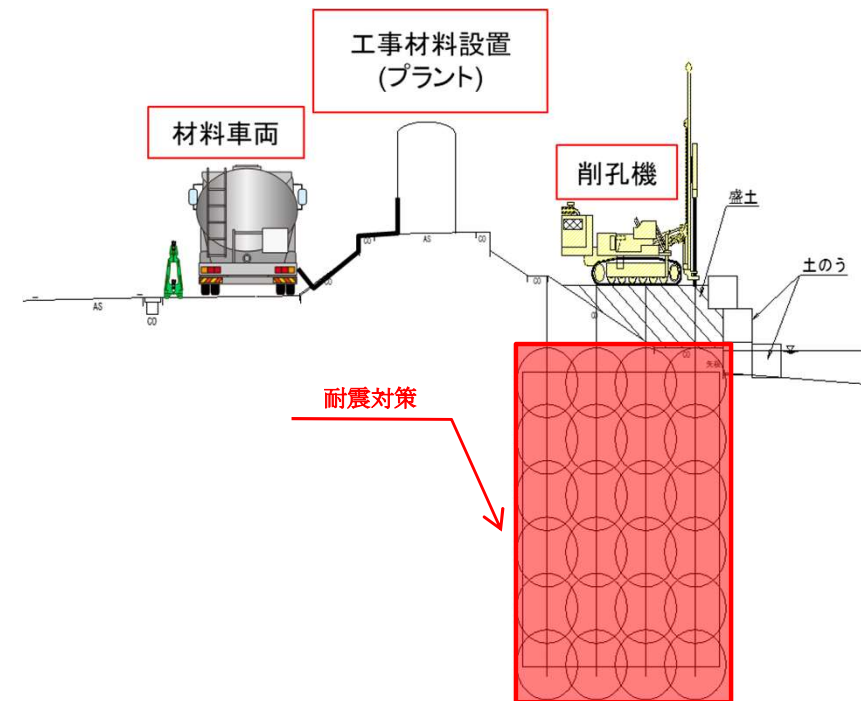
位置図



対策中



工事イメージ図



- 鈴鹿川水系において、平成19年以降、鈴鹿川本川での瀬切れは確認されていませんでしたが、令和4年4月に15年ぶりに瀬切れの発生を確認しました。
- 状況確認の結果、河川環境への著しい影響等は確認されませんでした。

鈴鹿川
16.4k
付近

平常時

2022年5月11日撮影



瀬切れ発生時

2022年4月12日撮影



鈴鹿川
19.8k
付近

平常時

2022年5月10日撮影



瀬切れ発生時

2022年4月12日撮影



- 三重河川国道事務所では、川の水質保全の重要性や河川愛護の関心等を深めるために「水生生物調査」を毎年実施しています。
- 今年度は新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら調査を実施しました。鈴鹿川では2地点3団体44名の参加により実施しました。

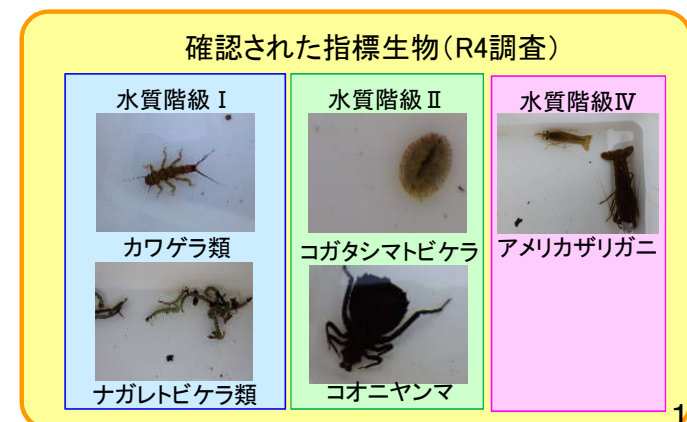
新矢矧橋【内部川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	IV(参考)
令和3年	(直営)	I(参考)
令和4年	(直営)	II(参考)

河原田橋【内部川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	I(参考)
令和3年	26人	II
令和4年	19人	II

和泉橋【安楽川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	I(参考)
令和3年	(直営)	II(参考)
令和4年	(直営)	II(参考)

亀山橋【鈴鹿川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	I(参考)
令和3年	(直営)	I(参考)
令和4年	(直営)	II(参考)

庄野橋【鈴鹿川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	II(参考)
令和3年	(直営)	IV(参考)
令和4年	25人	II



- 令和3年度は河川環境基図の調査を実施しました。
- 重要種が優占する群落は、ホソバノハマアカザ-ハママツナ群集等の4群落が発見され、群落区分及び面積が増加しました。
- 外来種が優占する群落は、オオバナミズキンバイ群落が発見されました。

河川水辺の国勢調査の実施状況 (鈴鹿川：H13以降)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
魚類			●					●					●					●							
底生動物			●					●						●					●						●
鳥類					●					●									●						
両生類・爬虫類・哺乳類				●					●										●						
陸上昆虫類		●					●										●								
植物	●					●										●									
河川環境基図	●					●					●					●						●			

調査地区



※調査は、直轄区間全域で実施

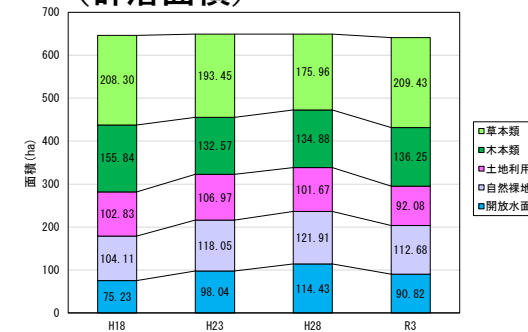


重要種
(ホソバノハマアカザ-ハママツナ群集)

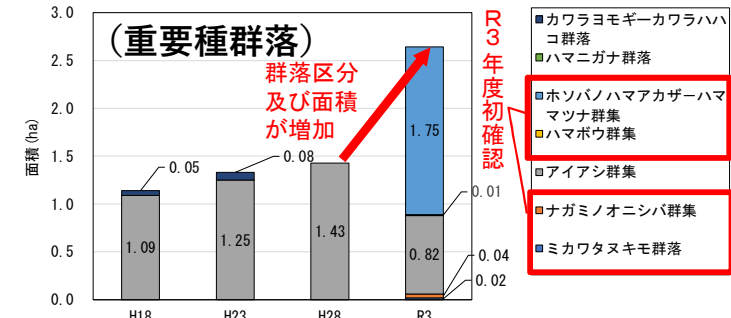


特定外来生物
(オオバナミズキンバイ)

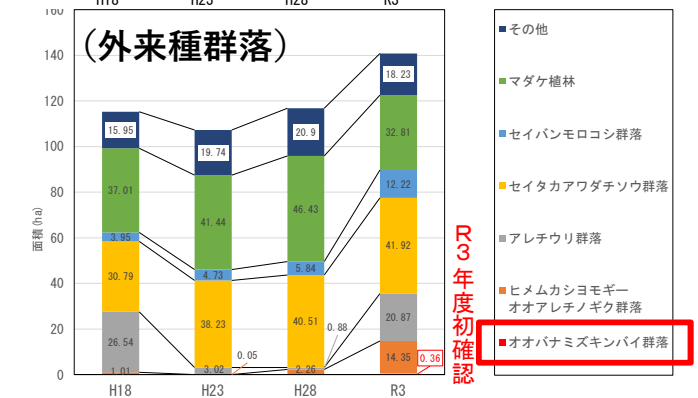
(群落面積)



(重要種群落)



(外来種群落)



水辺現地調査における植生面積の推移 (鈴鹿川水系全域)

➤ 櫛田川における水生生物調査の実施状況について、今年度は4地点5団体269名の参加により実施しました。



大峯橋・榎尾橋【佐奈川】

調査時期	参加人数	水質階級
令和4年	129人	II

新屋敷取水堰【櫛田川】

調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	II (参考)
令和3年	(直営)	II (参考)
令和4年	(直営)	II (参考)

JR佐奈川橋梁【佐奈川】

調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	II (参考)
令和3年	(直営)	II (参考)
令和4年	35人	IV

佐伯中【櫛田川】

調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	(直営)	I (参考)
令和4年	(直営)	II (参考)

両郡橋【櫛田川】

調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	27人	IV
令和4年	38人	I

櫛田橋【櫛田川】

調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	185人	I
令和4年	67人	I

水生生物調査の実施状況

櫛田橋(R4)



JR佐奈川橋梁(R4)



両郡橋(R4)



榎尾橋(R4)



確認された指標生物(R4調査)

水質階級 I



ナミウズムシ

水質階級 II



ヒラタドROMシ類

水質階級 IV



サカマガイ



ヒラタカゲロウ



コオニヤンマ



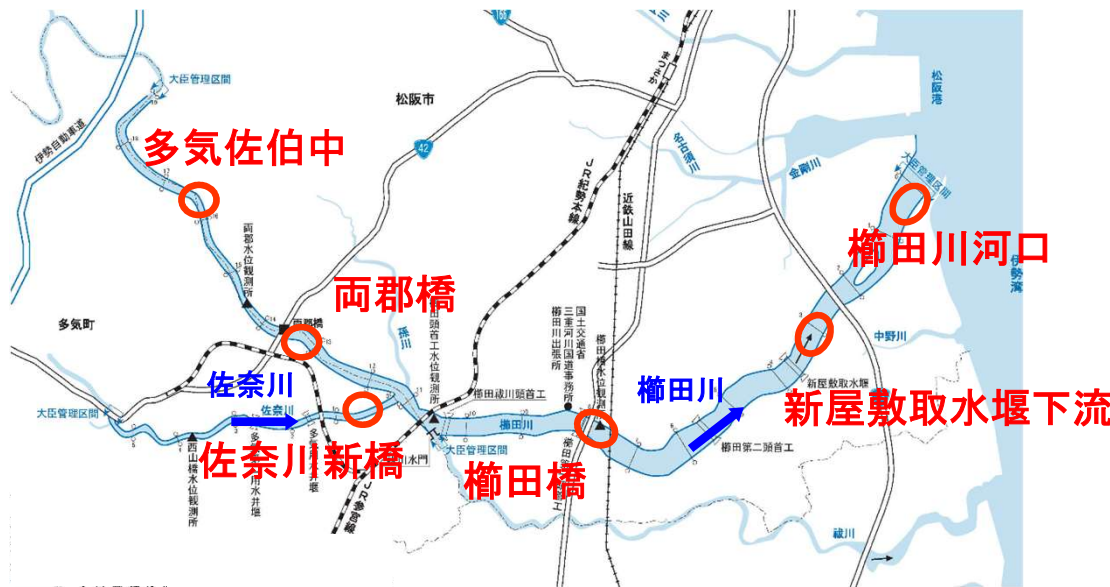
アメリカザリガニ

- 令和3年度は魚類の調査を実施しました。
- 平成8年から令和3年までの変遷をみると、確認種数及び外来種数は平成18年までおおむね横ばいであり、それ以降は増加しています。また、重要種は平成28年までは増加傾向にありましたが、令和3年には減少しています。

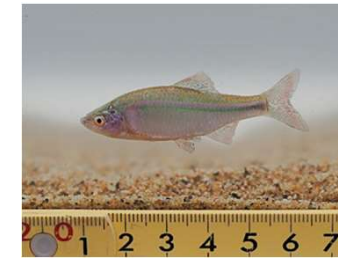
河川水辺の国勢調査の実施状況 (櫛田川：H13以降)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
魚類	●					●					●					●					●				
底生動物	●					●						●													
鳥類				●				●									●		●						
両生類・爬虫類・哺乳類		●						●										●							
陸上昆虫類					●						●									●					
植物				●									●											●	
河川環境基因				●									●							●					●

調査地区



重要種 (カマキリ)

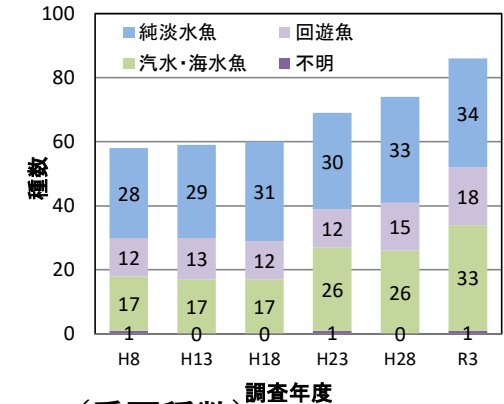


重要種 (イチモンジタナゴ)

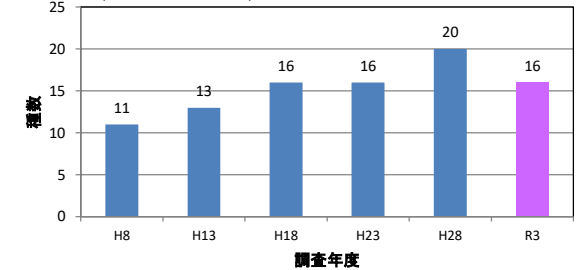


外来種 (コクチバス)

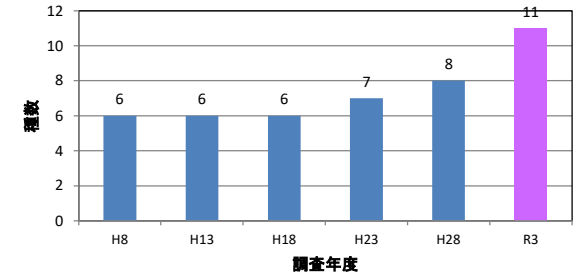
(確認種数)



(重要種数)



(外来種数)



水辺現地調査における確認種数の推移
※種数は最新の対象生物リストに基づく集計値

➤ 宮川における水生生物調査の実施状況について、今年度は団体参加による実施はありませんでした。

度会橋【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	II (参考)
令和3年	(直営)	II (参考)
令和4年	(直営)	II (参考)

御側橋【五十鈴川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	(直営)	I (参考)
令和4年	(直営)	II (参考)

宮川水管橋下流(昼田)【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
令和2年	(直営)	I (参考)
令和3年	(直営)	I (参考)
令和4年	(直営)	I (参考)

※R1は昼田水辺の楽校内のせせらぎ水路で実施



確認された指標生物 (R4調査)

水質階級 I	水質階級 II	水質階級 IV
カワゲラ類	ヒラタドロムシ類	ユスリカ類
ナガレトビケラ類	コオニヤンマ	サカマキガイ

- 河川巡視・点検等により状況把握を行い、維持管理対策を実施します。
- 得られた知見を分析・評価し、河川維持管理計画に反映するサイクルの体系を構築しています。

維持管理

治水

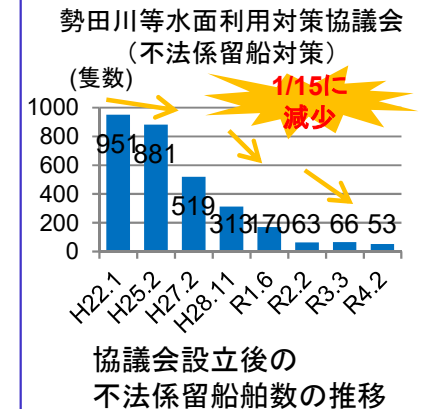
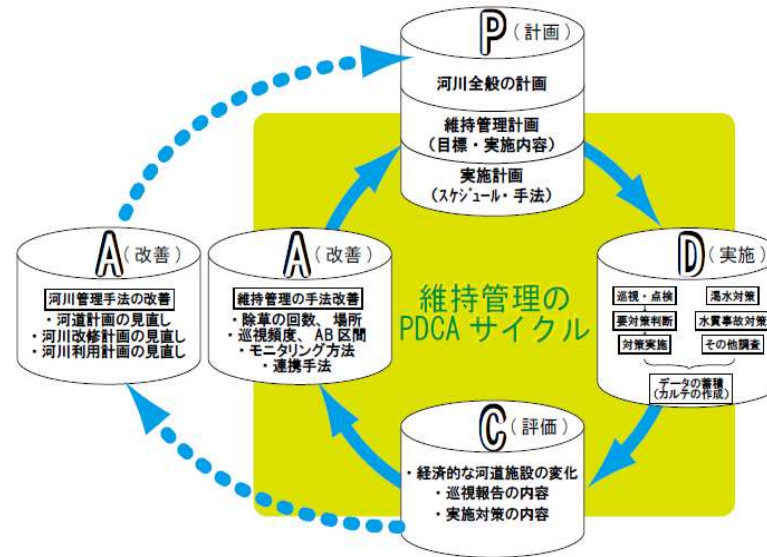
河川の巡視・点検・調査
河川管理施設等の点検・維持管理
河道の維持管理
危機管理対策

利水

流量等のモニタリング
渇水時の対応等(水利用の調整)

河川環境

河川空間の保全と利用
水難事故の防止
不法占用・不法行為等の防止
住民参加と地域連携による川づくり



台風期点検・出水期前点検



重要水防箇所の合同巡視



機械・電気設備の点検



安全な河川敷地利用連絡協議会
(水難事故対策)



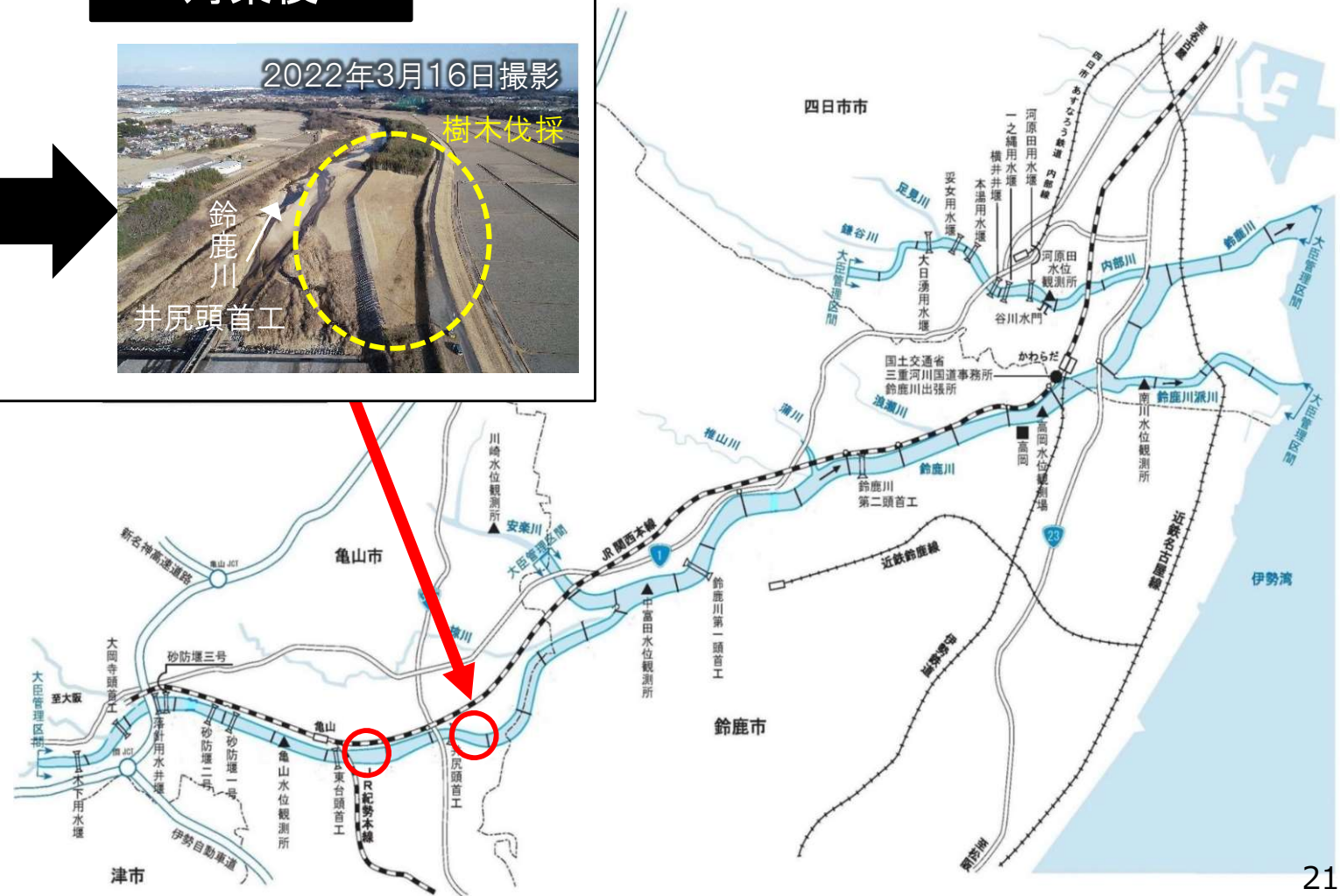
宮川渇水調整協議会

河川維持修繕事業

- 河川管理上支障となっている樹木の伐採等を行い、流下能力の回復を図りました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。

対策前

対策後



河川維持修繕事業

- 河川管理上支障となっている樹木の伐採等を行い、流下能力の回復を図りました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。



河川維持修繕事業

- 河岸洗堀が進行する恐れのある箇所の対応を行い、堤防機能の維持を図りました。
- 今後も、河道の状況等を把握しながら、適切な維持管理に努めていきます。

対策前



対策後

